

## 要 約

### 試験委託者

環境省

### 表題

ヒドロキノンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖試験

### 試験番号

0607-211

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998 年)に準拠した。

- |               |   |
|---------------|---|
| 1) 被験物質       | : ヒドロキノン  |
| 2) 暴露方式       | : 半止水式 (24 時間ごとに試験液全量を交換)   |
| 3) 供試生物       | : オオミジンコ ( <i>Daphnia magna</i> )   |
| 4) 暴露期間       | : 21 日間   |
| 5) 試験濃度 (設定値) | : 0.0081、0.016、0.033、0.065、0.13 mg/L の 5 試験濃度区及び対照区<br>公比 ; 2.0   |
| 6) 試験液量       | : 80 mL/容器  |
| 7) 連数         | : 10 容器/試験区   |
| 8) 供試生物数      | : 10 頭/試験区 (1 頭/容器)   |
| 9) 試験温度       | : 20±1℃   |
| 10) 照明        | : 室内光、16 時間明/8 時間暗 (明; AM6:00~PM10:00)、試験容器付近の光量子束密度 9~15 $\mu\text{mol}\cdot\text{m}^{-2}\cdot\text{s}^{-1}$ (800~1,200 lux) |
| 11) 分析方法      | : HPLC 法  |

## 結果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

各試験濃度区における設定濃度に対する実測濃度の割合は、新しく調製した新試験液で 64.2～92.3%、24 時間経過した旧試験液で 7.5 未満～50.8%の範囲であった。各影響濃度の算出には、測定濃度の時間加重平均値を用いた。

### 2) 21 日間暴露後の結果

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) : 0.061 mg/L  
(95%信頼区間 0.027～0.81 mg/L)

50%繁殖阻害濃度 (EC50) : 0.080 mg/L  
(95%信頼区間 : 0.058～0.12 mg/L)

累積生存産仔数に及ぼす最大無作用濃度 (NOEC) : 0.0029 mg/L

累積生存産仔数に及ぼす最小作用濃度 (LOEC) : 0.0049 mg/L